

奇跡の本屋をつくりたい 024ク
くすみ書房のオヤジが残したもの
久住邦晴／著 ミシマ社



店に人を集めるにはどうすればよいか。「なぜだ!? 売れない文庫」「本屋のオヤジのおせっかい 中学生はこれを読め!」等のフェア、店内での朗読など、次々と独創的な試みに挑戦した。札幌・くすみ書房の記録。店主が中学校で行った講演会原稿も読んでみよう。

えのないえほん 913サ
斉藤倫／作 講談社




誰からも醜いと言われ、この世から消えてしまいたいと思っていたけものは、女の子に出会いました。女の子は逃げ出したりせず、けものふさふさの背中にふれ、いいにおいがすると言います。そしてけものは、女の子の目が見えないことを知ったのです。

たいせつな人へ 933モ
マイケル・モーパーゴ／著
杉田七重／訳 あかね書房



フランスを救った英雄フランス・カマルツ大佐。平和主義者で教師の仕事に生涯をかけていたが、空軍に入った弟の戦死がきっかけで、戦う方法を考えるようになり、入隊して軍事スパイとなる。戦争と平和をテーマに描き続けている著者が、実の叔父の生涯を描いた小説。

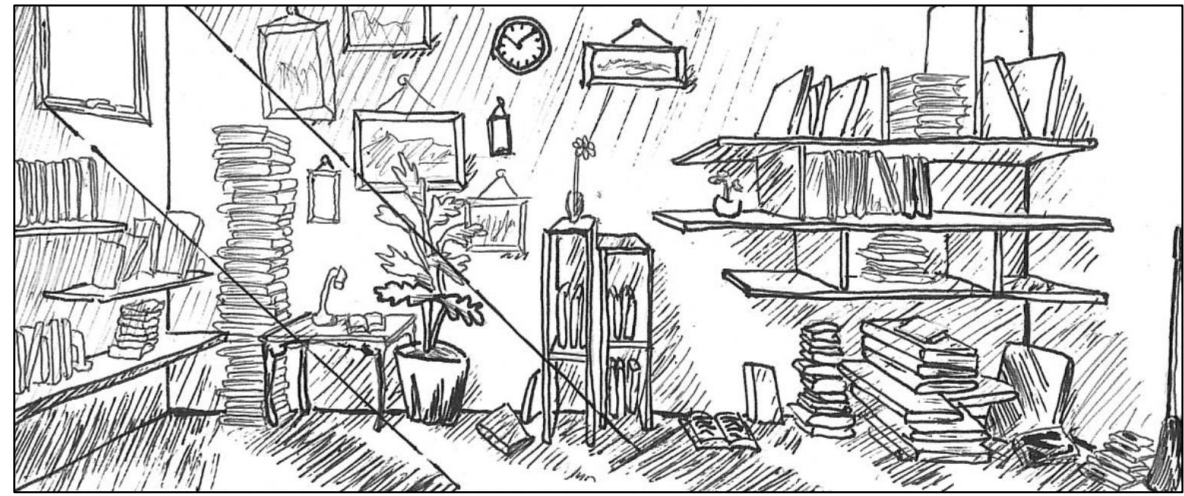
本当の「頭のよさ」ってなんだろう? 159サ
勉強と人生に役立つ、一生使えるものの考え方
齋藤孝／著 誠文堂新光社



自分は頭がよくないと思ったことはありませんか? 「頭がいい」とは、脳の「状態」がいいことである。状態のいいときは頭の動きがよく、勉強でも人生でも目の前の問題を解決することができる。著者は「本当の頭のよさ」を8つの切り口から考え、脳の状態をよくするのに必要なことは何かを教えてくれる。


ほんとのであい

本との・・・本当の・・・出会い・・・本との・・・本当の・・・出会い・・・本との・・・



神代中・エリンギ (ペンネーム)

もじゃ moja 913ヨ
吉田桃子／著 講談社




中2の理沙は、人より毛深いことに悩み、夏でも長袖にタイツ姿。親友の2人にさえ必死に隠しているが、それが原因で3人の関係がギクシャクして…。「人を好きになる前に、まずは自分を好きになりたい」の言葉は、今、まさに悩んでいるあなたを勇気づけます。

月の光を飲んだ少女 933バ
ケリー・バーンヒル／著 佐藤見果夢／訳
評論社




毎年、赤ん坊を魔法のいけにえに捧げる定めのある町。善良な魔法ザンは、赤ん坊を救っては養い親に預けているが、ルナだけは自分の孫として大事に育てている。月の光を飲んで魔力が宿ってしまったので、ほかの人間に預けるのは危険だから。竜の子フィアンや沼坊主に囲まれてすくすく育ち、魔力も強くなったルナは…。

ぼくにだけ見えるジェシカ 933ノ
アンドリュー・ノリス／作
橋本恵／訳 徳間書店



ファッションデザインが趣味の女の子フランシスには、友だちがいない。そんなある日、一人の女の子が近づいてきて言う。「わたしが見えるの?」幽霊ジェシカとの出会いによって新しい仲間ができ、変わっていくフランシス。そしてジェシカの思いとは?

**12の問いから始める
オリンピック・パラリンピック研究** 780サ
坂上康博／編著 かもがわ出版



オリンピック・パラリンピックはメダルだけを争うスポーツ大会ではなく、「社会をよりよくしていく」世界の平和をみざす祭典である。その歴史・しくみ・スポーツの進化と様子を研究することから見えてくる課題とは? 未来のオリンピック・パラリンピックはどうあったらよいのかをみんなで考えてみよう。

※表紙の使用を許可してくださった各出版社の御厚意に感謝いたします。




神代中・みお実 (ペンネーム)

ここでは23冊の本を紹介しています。これらの本は、調布市立中学校図書館にそろっています。□内は、学校図書館の分類記号です。本を探するときの目安になります。

イラストは市内の中学生の作品です。
ご協力ありがとうございました。


刊行物番号：2020-120
発行日：令和2年 10月
発行：調布市教育委員会指導室
編集：学校司書 (中学校)

プラスチック・プラネット 519ア
今、プラスチックが地球をおおっている
明日からプラスチックゴミをなくそう
ジョージア・アムソン＝ブラッドショー／作
大山泉／訳 評論社



プラスチックの「分解しない」特性が様々な問題を引き起こしている。プラスチックの歴史、現在の使われ方や処理方法、生物や環境への影響を知り、問題解決のために何ができるか考えよう。

ふるさとって呼んでもいいですか 334ナ
6歳で「移民」になった私の物語
ナディ／著 大月書店



日本以外にルーツを持つ人は、身近に居ます。ナディは在留資格が無いため、6歳でイランから来日後、10歳になるまで学校に行けませんでした。日本で支援を受け、努力してきた彼女は、「事情が違っていても差別せず、困っている人に対して温かい社会であってほしい」と語っています。

星の旅人

伊能忠敬と伝説の怪魚
小前亮／作 小峰書店

289 イ



数えて56歳から15年にわたって、ほぼ日本全国を歩いて測量した伊能忠敬。史実である伊能隊の測量の旅に、行方知れずの父を探す少年の物語が加わって、読みやすい構成です。時代背景の詳しい解説もあり、歴史・天文・物語の好きな人が楽しめること間違いなし！

放課後の文章教室

小手鞠るい／著 偕成社

816 コ



書くことが好きでたまらない著者が、中高生などからの「友達にメールを送るための文章」や「本を読むの好きだが、感想文が苦手」等の相談に、書くことの楽しさやコツを教えます。名作や現代作家の一文を例にしたり、「悪口は書かない」「理解している言葉だけを使って書く」など具体的にアドバイスします。

マレスケの虹

森川成美／作 小峰書店

913 モ



ハワイ島で暮らす日系アメリカ人のマレスケ。ある日、ラジオは日本軍がパールハーバーを爆撃していると告げ、日米は戦争状態となった。日本人のじいちゃんは移民局へ連れていかれ、マレスケも敵国人としてひどい扱いを受けるが、じいちゃんはアメリカの軍隊に志願すると言う。

平和のバトン

広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶
弓狩匠純／著 くもん出版

319 ユ



被爆者の体験談を、美術を学ぶ生徒が一枚の絵にする『次世代と描く原爆の絵』プロジェクト。戦争を知らない高校生たちが当時の情景を正確に描くために、何度も話を聞き、写真や資料も確認しながら描き進める。70年以上前の「記憶」を「記録」として受け継いでいく貴重な取り組み。

僕らが生きているよのなかのしくみは「法」でわかる

13歳からの法学入門
遠藤研一郎／著 大和書房

320 エ



部活、合唱コンクール、テストなど、中学校生活のさまざまな場面を描いたストーリーマンガをはさみながら、日常の出来事が「法」とどのようにつながっているのかをわかりやすく解説。法律や法的な考え方を学べる。法を知ると、生きやすくなる！

星くずクライミング

榎崎茜／作 くもん出版

913 カ



中1のあかりはスポーツクライミングをやっていたが、スランプのため、やめるか迷っていた。そんなある日、視覚障害者が行うブラインドクライミングのイベントに参加し、同じ年で、目が不自由な「昂」というクライマーのナビゲーターをすることになり…。

この川のむこうに君がいる

濱野京子／作 理論社

913 ハ



梨乃は自分の事を知っている人がいない高校に入学し、心の中ではまっとうとしていた。それは「被災者はかわいそう」という目で見られなくなかったから。吹奏楽部に入り、新しい仲間と出会い、心に響く音楽により、抱え込んでいた辛い思いから少しずつ解き放たれ、前を向いて生きようになる。



第四中・えびお（ペンネーム）

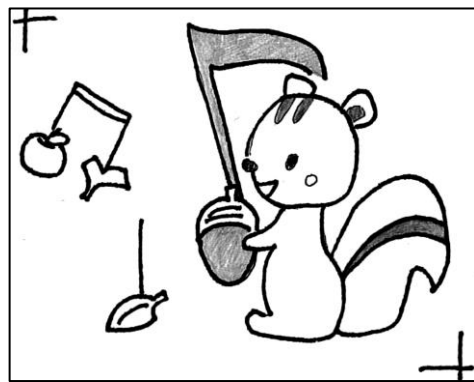
リスタート

ゴードン・コーマン／著 千葉茂樹／訳
あすなろ書房

933 コ



チェスは13歳の夏休み、自宅の屋根から落ち、記憶喪失になる。退院して学校に戻ると、アメフト部のスター選手だったらしいが、今の優等生的な自分の行動に対する周りの微妙な反応に戸惑う毎日。「いったい、どんな人間なんだ、このおれは？」



第三中・さくらもち（ペンネーム）

わきだせ！いのちの水

日本伝統の上総掘り井戸をアフリカに
たけだにちほみ／著 フレーベル館

518 タ



千葉県には、竹と鉄製の道具だけで井戸を掘る「上総掘り」という伝統技術がある。アフリカの人々に「きれいな水を飲んでほしい」という思いから、この技術を現地に合わせて改良して指導し、技術者も育成する大野さんの活動を紹介。SDGs目標6につながる持続可能な取り組みに注目！

生きているシーラカンスに会いたい！

岩田雅光／著 新日本出版社

487 イ



「生きた化石」として日本人によく知られているシーラカンス。謎が多く、どのように生きているかはあまり知られていない。水族館「アクアマリンふくしま」でシーラカンス調査担当の著者が、多くの困難を乗り越え、ついに生きたシーラカンスに出会った。苦難の調査方法と謎の生物の生活を解き明かした記録。

アドリブ

佐藤まどか／著 あすなろ書房

913 サ



イタリアの地方で生まれ育った日本人のユージは、クラシックコンサートでフルートの音色に感激し、初心者ながら国立音楽院を受験。合格し、学び始める。日本とは違う教育システムで、中等学校と両方の学校に通うことになる。やがて本気で音楽家になるか選択を迫られ、覚悟があるのか試される。

十四歳日和

水野瑠見／著 講談社

913 ミ

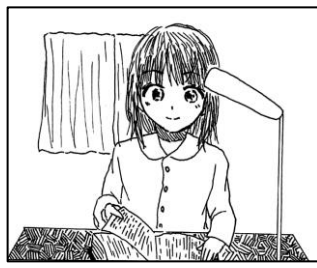


身なりを変えてからクラスの「日向」側のグループに入った葉子。だけど、親友だったしおりがいる「日陰」のほうが心地よく、「日向」は自分の居場所ではないと気がついていくが…。（「ポーダレスガール」より）

同じ中学に通う14歳の少年少女の揺れ動く心を描いた、4つの短編集。

長く読みつけてきた
古典や名作を紹介します。

おたから本



第六中・あ（ペンネーム）

おちくぼ『落窪物語』（岩崎書店、講談社、小学館などから現代語訳が出版されています。）

早くに母を亡くした姫君は、継母に引き取られ、やしきの中でも床の一段低い、落ちくぼんだ部屋で縫い物ばかりさせられていた。「おちくぼ姫」と呼ばれ、まるで使用人のようにこき使われている姫君の味方は、母が生きていたときの侍女（じじよ）・あこぎだけ。ある時、美しく心やさしい姫君の噂をきいた貴公子・右近の少将が、あこぎを通して姫君に文（ふみ＝手紙）を届けてきて…。

平安時代の貴族社会を舞台にした日本版シンデレラ物語ですが、単なる恋物語ではありません。登場人物たちの喜怒哀楽を生きたりと描き、一喜一憂しながら進展する物語が、今から1000年も前につくられていたなんて、驚き！時代を超えて現代にも通じる古典文学のおもしろさを味わってください。

